Runbook × Claude

クイックスタートガイド

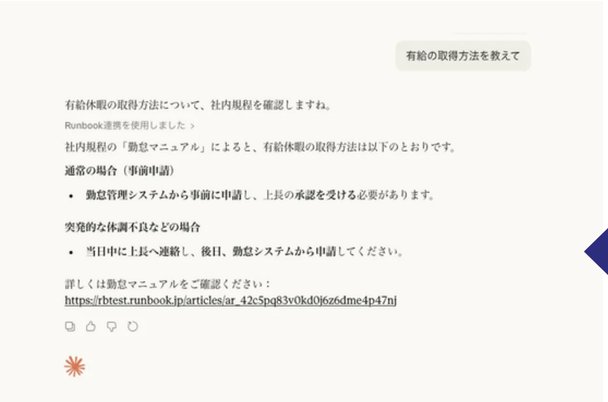
クローバ株式会社　https://www.runbook.jp

このチュートリアルでできること

「在宅勤務について教えて」
→AIがRunbookから業務マニュアルを検索。就業規則を要約して教えてくれます。

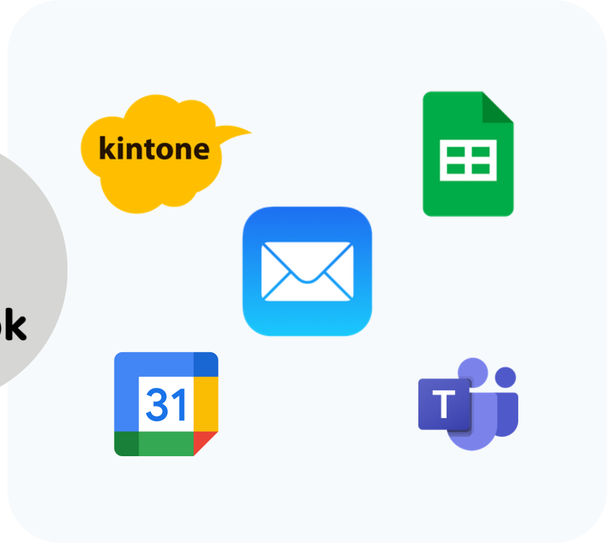
「業務マニュアルを作って」
→指示された業務の業務マニュアル作成して、Runbookに登録します。フロー図の自動生成も可能です。

「有給休暇を申請したい」
→必要な手続きの方法を教えてくれるだけでなく、実際にAIに指示するだけで申請を行うことができます。



Claude

Runbook



用意していただくもの

Claude

Claude有料（ProまたはMax）アカウント

Runbook

Runbookの試用または有料アカウント

Claudeの種類

今回はこれを使います

	Claude（Web版）	Claude Desktop	Claude CLI
使えるサービス	Claude（チャット） (Claude Code)	**Claude（チャット） Claude Cowork Claude Code**	Claude Code
特徴	ブラウザで完結	**ローカルファイルにアクセス スケジュール実行できる**	ローカルファイルにアクセス コマンドライン実行できる
用途	チャット	**チャット デスクトップ作業 コーディング（ターミナル不要）**	コーディング
コネクタ	リモートMCPサーバー	**リモートMCPサーバー ローカルMCPサーバー**	リモートMCPサーバー ローカルMCPサーバー

事前準備(1)

Runbookのシステム設定でOAuthの設定を行います。
「MCPクライアント」から「Claude」を選択します。

事前準備(2)

ブラウザでClaudeの設定画面にアクセスし、「コネクタ」メニューからカスタムコネクタを追加します。

事前準備(3)

名称をRunbookとし、Runbookの設定画面に表示されていたURLを入力します。

「連携/連携させる」をクリックすると、Runbookの認証画面が開きます。
「承認する」をクリックしてください。これで連携設定は完了です。

Runbook + Claudeでできること

ヒトでもAIでもできる

マニュアルを読む

Runbookの記事を読んで
質問に回答

記事のあるブックを選択することで
AIが記事を探しやすくなります

マニュアルを書く

保存先のブックを指定

Claude指示書
20行
TXT

kintoneの営業支援システム (app id 34, 35, 36)のER図を書いてRunbookに仕様書に追加して

Sonnet 4.6

編集する

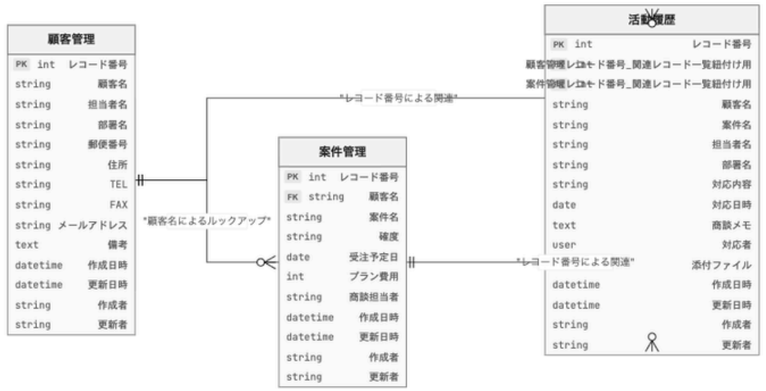
営業支援システムER図

概要

営業支援パックは、以下の3つのkintoneアプリで構成されています：

- **顧客管理アプリ（App ID: 35）**
- **案件管理アプリ（App ID: 34）**
- **活動履歴アプリ（App ID: 36）**

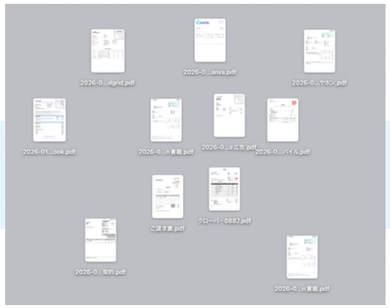
ER図（Entity Relationship Diagram）



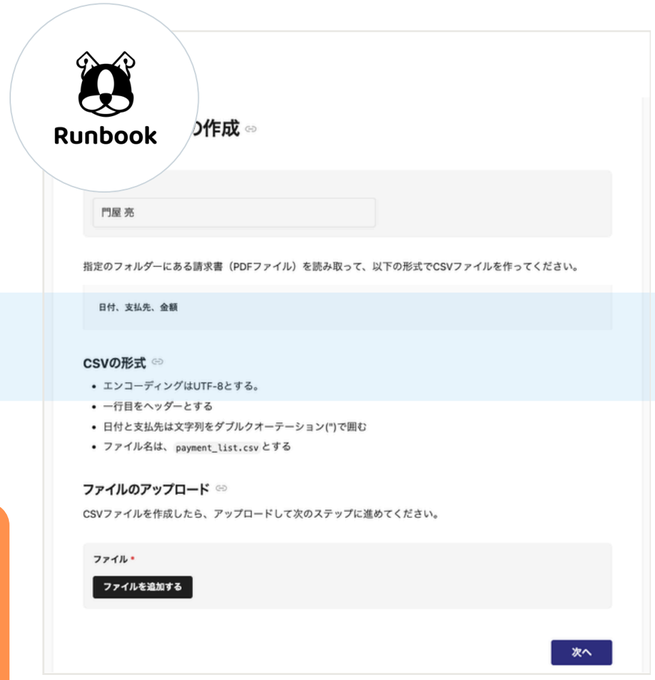
概要
ER図（Entity Relationship Diagram）
エンティティ詳細説明
顧客管理アプリ
案件管理アプリ
活動履歴アプリ
データフローと関係性
システム設計上の特徴

kintoneから情報を取得するには、kintoneの公式MCPサーバーを使います。
https://github.com/kintone/mcp-server

業務プロセスを実行する



デスクトップの請求書を
まとめてリストにしたい



①Runbookで手順を書く

②Claude Coworkが
手順を読み取って実行

③Runbookのワークフローで
結果をメール送信

シンプルなワークフローを作ってみよう

STEP1
新しいブックを作成します

「ワークフロー」を選ぶ

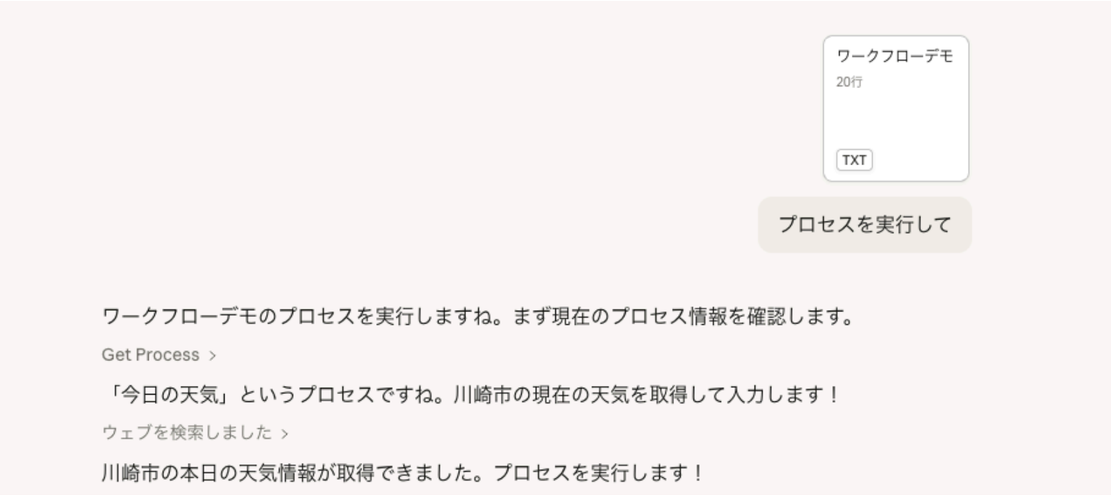
STEP2
記事を編集します

ここからフォームを追加

シンプルなワークフローを作ってみよう

STEP3
メールアクションを設定します

STEP4
Claudeで実行します



実行結果は、Runbookの
完了したワークフロー一覧画面から確認できます。

記事を追加するとClaudeが手順を
順番に実行します。

スキルやカスタムコマンドとの違い

✅ タスクを共有できる

- 文書を作成するだけで安全に社内やチームで共有できる。
- Claudeのプラグインを作って共有するより簡単。いつでも手直しできる。

✅ オートメーション

- プロセスの進行状況に合わせて、メールやkintone、Yoomなどのサービスとデータ連携。
- AIの作業と、ルールベースの作業を同時に実現できる。

✅ 条件分岐

- AIの出した結果に応じて次の作業を条件分岐して指示することが可能。

✅ 特定のAIツールに依存しない

- Claudeだけでなく、MCPに対応したツールであればどんなツールからも呼び出しが可能。